

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 2020年 1月 15日

公表: 2020年 1月 28日

事業所名 放課後等デイサービスわたぼうし

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		・必要に応じて3部屋を使用しています。	取り組み内容により公園、学校なども利用し、適切なスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切である	4		・既定の人数を配置しています。	・各職員がスキルアップを目指し、支援の質を高めていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	・階段昇降時は、見守り介助を行っています。	・階段など、建物の構造上バリアフリー化がなされていない部分もあり、ご心配をおかけしておりますが、危険と判断した場所については修繕等を加え、安全に留意して活動しています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		・会議やミーティングの際に各職員で課題を共有し、改善に努めています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			・調査結果を業務に反映出来るよう、頂いたご意見を基に改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		・法人のホームページに掲載しているので、ぜひご覧ください。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		・現在は実施していませんが、今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		・外部研修、法人内研修を実施し、スキルの向上に努めています。	・日々の業務に直結したスキルを習得できるよう、今後も研修等を実施していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		・個人に合ったアセスメントツールを使用し、ニーズや課題の分析を行うと共に、日々の様子を支援計画に反映させ、作成を行っています。	・アセスメント力を高め、適切な支援が行えるように研修を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		・各児童の様子から、それぞれに合ったツールを選択、使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		・各取り組み担当ごとにプログラム内容を決め、会議で共有を行っています。また、当日の子どもたちの状況に合わせた柔軟な設定を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		一カ月を通して、様々な活動に取り組めるよう、取り組みを設定しています。	子どもたちの発達や興味に合った内容になるよう、今後もプログラム作りに力を入れていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		・長期休みには、お出かけなど時間が確保できる日ならではの活動を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		・子ども達の発達段階に合わせて集団の大きさを工夫し、取り組みを設定しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		・併設している学童スタッフを含めてミーティングを行っています。	

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		・緊急性の高いものについては当日中に共有し、それ以外は翌日の打ち合わせで情報共有しています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		・各児童の目標を毎日、個別に設定し、達成状況について検討、記録しています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		・年3回、保護者との面談を実施し、計画内容の見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4		・ガイドラインの内容を遵守し、実施しています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		・児発管や対象児童の対応に詳しいスタッフが同席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		・保護者にもご協力いただきながら、連絡調整を行っています。また、直接学校とやり取りを行い、メルマガにも登録しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1		・現在医療的ケアが必要な児童が利用していませんが、必要な場合は体制を整え対応していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		・関係機関との情報交換を行っています。	・児童発達支援事業所との情報共有が多い為、その他の機関との連携も図っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		・小学生までが対象のため、障害福祉サービス事業所などへ移行はないが、退所後の他事業所への引継ぎを行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		・研修を受講し、内容を反映させた取組みを行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4		・併設の学童保育と日常的に一緒に遊び、おやつ作りや工作、イベント等の取り組みを行っています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	研修や他事業所との情報交換を行っています。	・スタッフによっては、あまり参加できていないため、今後は積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		・連絡帳を通して保護者と情報交換を行い、送迎の際に、その日の様子を詳しく伝えられるようにしています。	・短時間では伝えきれない内容もあるため、面談などの機会を利用し、詳しく伝えられるように努めていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	・不定期ではありますが、保護者向け学習会を実施しています。	・保護者対応しているスタッフも限られており、スタッフ全員が保護者対応できるように研修を実施していきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		・契約時に書面で説明させていただいております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1		・より適切な助言が出来るようスキルアップに努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		・不定期ですが、保護者向け学習会や親子交流会を実施しています。	・今後も保護者の方のご要望、ニーズを取り入れた行事などを検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		・速やかに内容を共有し、対応できるように体制を整えています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		・毎月通信を発行し、活動の様子をお伝えしています。また、お出かけのしおりなどは、必要に応じて保護者向けのものと同時に、子ども向けの物も配布しています。	
	35	個人情報に十分注意している	4		・守秘義務についての研修を実施しています。今後も個人情報の管理に注意していきます。	

36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードや個別のスケジュールボードを活用して、コミュニケーションが取れるよう努めています。</li> <li>・必要事項はお手紙を配布するほか、口頭での説明も行っています。</li> </ul>	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭りなどのイベントを実施し、近隣の方や学校の先生を招待させていただきました。</li> </ul>	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2	・防犯マニュアルを現在製作しています。	・すべての職員に内容が周知されるよう、伝達を行っていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		・利用児童全員が参加できるように、各曜日に避難訓練を実施しています。また、消防署の方に監督を依頼し、助言をいただいています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		・虐待防止委員の設置や法人内研修を実施しています。	・事業所独自の虐待チェック表を作成し、適切な支援が行えるように努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		・支援計画に記載し、保護者の同意を頂いています。	・職員の支援力をアップし、適切な支援が行えるように努めています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		・どの児童が何のアレルギーなのかをスタッフ間で共有し、食べ物を出す際に注意しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		・ヒヤリハットはファイルを作成して、内容をスタッフ間で共有しています。	・考えられる危険や同じことを繰り返したりすることが無いよう環境改善を都度行っています。